

真夏の第九

真夏 心

自然の中で ドヴォルザーク

交響曲第9番「合唱付き」L.v. ベートーヴェン

指揮：阪本正彦

ゲストコンサートマスター：酒井敏彦

演奏：震災復興支援「真夏の第九」

独唱：Sop. 加藤千春 Alt. 小谷円香 Ten 渡辺大 Bar. 与那城敬

合唱指導：小谷円香

蓬莱島から春の大槌湾を臨む(岩手県大槌町)

渋谷区文化総合センター大和田さくらホール

2017年8月20日(日)

開場 13:00 開演 14:00

全席自由 ¥1,000

お問い合わせ：真夏の第九実行委員会

070-5587-0136 (村松)

hukkodaiku@gmail.com

渋谷区桜丘町 23-21
渋谷駅から徒歩5分



バス：大和田シャトル(ハチ公口-文化総合センター大和田)
ハチ公バス(タヤけこやけルート) コミュニティバス

『先生、オーケストラで第九を歌いたいんだ』

この一言で始まった公演も今回で5回目になります。第1回真夏の第九公演を開催するにあたり出会った「大槌町にホールを！」の理念の下、毎年参加者は少しずつ増えています。大槌町に音楽ホールができるまで！を合い言葉に団員一同演奏し続けて参ります。

音楽と触れ合う町、岩手県大槌町に夢の音楽ホールを♪音楽ホール槌音《つちおと》プロジェクト

槌音プロジェクトは、大槌と繋がった日本中、世界中の音楽を愛する皆様と交流し、大槌から「感謝と元気」を音楽や郷土芸能で発信する場所として、そして町民の皆さんがいつでも音楽や芸能と触れ合える音楽ホール「槌音」をつくりあげたいと思い活動しております。

音楽ホール「槌音」は、大槌の復興のシンボルとして何時でも音楽に溢れ人々が集える場所となり、大槌の文化の継承・発展に寄与します。

そして、日本中、世界中から人々が大槌に集い自然豊かな大槌の魅力を堪能していただくとともに震災の記憶を絶やすことなく全世界に発信し続けます。

指揮 阪本正彦



東京都青梅市出身。1987年東京芸術大学卒業。ホルンを宇田紀夫、守山光三、千葉馨、室内楽を村井祐児、海鋒正毅、指揮を湯浅勇治、高階正光、松沼俊彦、下野竜也の各氏に師事。1985年神奈川県立音楽堂推薦音楽会に出演。1986年東京交響楽団入団。オーケストラ活動のみならず、アマチュアオーケストラ、吹奏楽等への丁寧な指導、指揮にも定評がある。2011年東京国際芸術協会登録指揮者となる。フィンランドでのヨルマ・パヌラ指揮マスタークラス(2012年)、フィレンツェ国際指揮マスターコース(2013年)、ブダペスト国際指揮マスタークラス(2015年)に受講資格を得て参加するなど研鑽を重ねている。2013年より震災復興支援真夏の第九チャリティーコンサートを開催。2014年にはマーラー交響曲第5番、歌劇「椿姫」などを指揮、同年末にはあまみエフエムプレゼンツ市民第九祭(奄美第九演奏会)に招聘され、好評を得た。現在、東京交響楽団ホルン奏者、ピアノと木管五重奏「ゼクステット魅生瑞(みゅうず)」メンバー、Glanz弦楽合奏団主宰/指揮者、横須賀交響楽団顧問/指揮者。

ゲストコンサートマスター 酒井敏彦



1955年愛媛県松山市生まれ。故・鈴木浴三、坂本玉明、ポフスラフ・マトゥシェックの各氏に師事。1977年愛媛大学教育学部卒業。同年5月、読売日本交響楽団に入団。1983年4月NHK交響楽団に入団。1998年より同交響楽団第一ヴァイオリン・フォアシュピラーを務める。2015年定年退職。現在、同交響楽団再雇用楽員。リサイタルを開催するなど、室内楽の分野でも活動している。

ソプラノ 加藤千春

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程オペラ科修了。在学中に芸大定期オペラ「魔笛」夜の女王でデビュー。二期会オペラスタジオ修了時に成績優秀賞受賞。英国トゥリニティ音楽院首席卒業。レイランド音楽祭声楽コンクール第1位。新・波の会日本歌曲コンクール入選。「フィガロの結婚」スザンナ、「コシ・ファン・トゥッテ」デスピーナ、「愛の女庭師」セルベッタ、「修道女アンジェリカ」ジェノヴィエツァ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「電話」ルーシー、「愛の妙薬」ジャンネッタ、カヴァッリ「ラ・カリスト」リンフェア(日本初演)、W.フェラーリ「スザンナの秘密」スザンナ、青島広志「火の鳥<ヤマト編>」カジカ、木下牧子「不思議の国のアリス」(初・再演)白兎などを演じる他、日英双方でリサイタル開催、またコンサート歌手、第九、宗教曲のソリストとしても活動。二期会、東京室内歌劇、横浜シティオペラ、日本ヘンデル協会、各会員。



テノール 渡辺大



明治大学混声合唱団を経て東京藝術大学声楽科卒業。同大学院(オペラ)修了。在学中より小澤征爾音楽塾にて研鑽を積んだ後、佐渡裕指揮、ヴェルディ『椿姫』にガストン役にて出演。佐藤しのぶ主演『夕鶴』では与ひょう役に共演を果たした。三枝成彰の新作オペラ『KAMIKAZE- 神風 -』世界初演では山口耕太少尉役で出演。音楽の友誌他で好評を博した。ソリストとしては'12年サントリーホールにてヴェルディ「レクイエム」(小林研一郎指揮)に抜擢。ファエンツァ、ローマではV.チマッティ作品のイタリア公演に出演し好評を博した。これまでモーツァルト、グノー、ハイドン、M.ハイドン、プッチーニ等の宗教曲の他、「メサイア」、「第九」等出演。「期待の若手声楽家たち」として業界誌「ハンナ」に掲載された。フェリス女学院大学非常勤助手。日本声楽家協会講師。啓声会会員。《公式Web <http://watanabe-dai.net>》

アルト 小谷円香

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。これまでに声楽を原田茂生、故松尾洋各氏に師事。卒業後はオペラ「蝶々夫人」のいとこ役でブルガリアンカンパニーの一員として出演。スペインを1ヶ月かけ26都市巡演し、ドイツ・フランクフルトでは1ヶ月連続公演に出演した。主な出演作品はオペラ「カルメン」タイトルロール、「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントゥツァ、「トロヴァトーレ」アズチーナ、「アイーダ」アムネリス、「道化師」シルヴィオ、「リゴレット」マッダレーナ、「魔笛」ダーメ、「蝶々夫人」スズキ、「ジャンニ・スキッキ」ツイータ他。「第九」「合唱幻想曲」ソリストを務める。大震災復興支援コンサート「真夏の第九」事務局長。近年は現代日本作家の作品演奏にも力を入れており、演奏活動以外では、各合唱団体の指導や、教育音楽ソフトの企画、製作、作曲や、CM音楽等も手がけている。



バリトン 与那城敬

桐朋学園大学ピアノ専攻卒業、同大学研究科声楽専攻修了。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。第16回マリオ・デル・モナコ国際声楽コンクール第3位。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。06年『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモで二期会オペラデビュー。その後小澤征爾音楽塾特別コンサートにて『カルメン』エスカミーリョ、二期会『エフゲニー・オネーギン』タイトルロール、『フィガロの結婚』伯爵、新国立劇場では「愛の妙薬」ベルコレ、「鹿鳴館」影山悠敏伯爵、「沈黙」フェレイラ、「道化師」シルヴィオ、北とびあ国際音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール等出演。その他パッハ・コレギウム・ジャパンや国内主要オーケストラのソリストとしても活躍。「第九」(読響)、オルフ「カルミナ・ブラーナ」(東響)、マーラー「大地の歌」(日本センチュリー響)はライブ録音が発行されている。二期会会員

